

安全データシート

1. 製品及び会社情報

【製品情報】

製品名： TS-A  
 一般名： 防塵処理剤  
 推奨用途： けい酸カルシウム板の防塵処理  
 使用上の制限： 推奨用途以外での使用は避けること

【会社情報】

会社名： 日本インシュレーション株式会社  
 所在地： 岐阜県瑞穂市野田新田字北沼4064-1  
 担当部門： 生産事業部 品質管理部門  
 電話番号： 058-326-3221  
 FAX： 058-326-8982

2. 危険有害性の要約

GHS分類：混合物としての評価

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	加圧下化学品	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	分類できない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康有害性	急性毒性（経口）	区分に該当しない
	急性毒性（経皮）	区分に該当しない
	急性毒性（吸入：ガス）	区分に該当しない
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分に該当しない
	急性毒性（吸入：粉じん）	区分に該当しない
	急性毒性（吸入：ミスト）	区分に該当しない
	皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	区分に該当しない
	皮膚感作性	区分に該当しない
	生殖細胞変異原性	区分に該当しない
	発がん性	区分に該当しない
	生殖毒性	区分に該当しない

	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分に該当しない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分に該当しない
	誤えん有害性	分類できない
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

注) GHS分類のための情報，知見が入手不可である成分は評価に含まない又は分類できないとした。

## GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 重篤な眼の損傷

注意書き：

【安全対策】 適切な保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に，コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

【保管・廃棄】 非該当

## 3. 組成，成分情報

単一物質・混合物の区別：混合物(水溶液)

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	含有量 (%)
珪酸リチウム	12627-14-4	1-770	1~5
水	7732-18-5	—	95~99

注) 主成分及びその他危険有害性があると思われる原材料について表中に記載

本製品は，ホルムアルデヒド発散建築材料には該当しない告示対象外材料です。したがって，建築基準法規制対象であるクロルピリホス及びホルムアルデヒドは原料，工程にて使用しておらず含まれておりません。さらに以下に示す化学物質も同様に使用しておりません。

トルエン，キシレン，パラジクロロベンゼン，エチルベンゼン，スチレン，フタル酸ジ-n-ブチル，テトラデカン，フタル酸ジ-2-エチルヘキシル，ダイアジノン，アセトアルデヒド，フェノカルプ，その他の揮発性有機化合物

## 4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。

水でよく口の中をうがいます。必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚についた場合： 速やかに汚染した衣服や靴などを脱ぐこと。

アルカリ性なので，付着した部分は石けんを使用しないで微温湯又は水を流しながら，皮膚の刺激やぬるぬるする感じが無くなるまで洗い続ける。

皮膚に異状があれば医師の診察を受けること。

眼に入った場合： 清浄な水で最低 15 分間以上洗眼し，直ちに医師の診断を受ける。

洗眼の際は，まぶたを指でよく開いて，眼球やまぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗浄する。

誤飲した場合： 水でよく口の中を洗浄する。多量の水を飲ませて可能であれば，吐き出させる。

---

直ちに医師の診断を受けること。

---

## 5. 火災時の措置

不燃性なので、火災時の措置は特にありません。

適切な消火剤： 水、粉末、泡等周辺の火災に適した消火剤。

使ってはならない消火剤： 情報なし

特有の消化方法： 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火活動を行う者の特別な 消火作業時は必ず保護具を着用する。

保護具及び予防措置：

---

## 6. 漏出時の措置

### ・人体に対する注意事項

漏出した場所にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業の際は、皮膚に付着しないよう、眼に入らないように保護具を着用する。

### ・環境に対する注意事項

できるだけ回収する。そのあとは多量の水を用いて洗い流す。この場合、pH6～8の範囲で洗い流し、濃厚な液が河川等に排出されないように注意する。

### ・封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合は、ウエス等で拭き取る。

多量の場合は、土嚢等で拡散防止を図ってから、ポンプ等でドラムやタンクまたはローリーに出来るだけ回収する。回収できなかった残分は、塩酸又は硫酸等で中和する。

---

## 7. 取り扱い及び保管上の措置

### 【取扱い上の注意】

技術的対策：「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気：「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気，全体換気を行う。

安全取扱い注意事項：取り扱い後は、よく手を洗うこと。

：漏れ、あふれ、飛散しないようにする。容器を転倒や落下させたり、衝撃を加えたり、又は引きずる等の粗暴な取り扱いをしない。

濃厚な酸を加えてはならない。

使用済の空容器は一定の場所を定めて集積する。

### 【保管上の注意】

安全な保管条件：直射日光を避け、冷暗所に貯蔵する。密閉して、空気との接触を避ける。

凍結するとゲル化して元に戻らないので、常温で保管すること。

安全な容器包装材料：ステンレスもしくはポリエチレンの容器

ステンレス以外の金属容器を避けること。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：設定されていない。

設備対策：貯蔵ないし取扱う作業場の近くには、手洗い・洗眼器と安全シャワーを必要に応じて設置すること。

屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。

### 【保護具】

呼吸器の保護具： 防塵マスク（国家検定品）

手の保護具： JIS T 8166 に適合した、不浸透性の化学防護手袋。

眼、顔面の保護具： JIS T 8147 に適合した、スペクタクル形またはゴグル形の保護めがね。

皮膚及び身体の保護具： 作業衣，ゴム製長靴

---

## 9. 物理的及び化学的性質

---

---

物理状態	: 液体
色	: 白色透明(微濁していることもある)
臭い	: 無臭
融点・凝固点	: データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: 爆発性なし
引火点	: 引火性なし
自然発火点	: 発火性なし
分解温度	: 分解性なし
爆発下限界, 爆発上限界/可燃限界	: データなし
pH	: 10前後
動粘性率	: データなし
蒸気圧	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
密度, 相対密度及び/又は比重	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

---

### 10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし
化学的安定性	: 不燃性。 引火性, 可燃性, 酸化性, 自己反応性, 爆発性等なし。 加熱・冷却, 他の薬剤との混合によりゲル化することがある。
危険有害反応可能性	: フッ化水素酸とは激しく反応し, フッ化珪素ガスを発生する。 濃厚な苛性アルカリとは激しく反応し, 発熱する。
避けるべき条件	: 凍結すると, ゲル化して元に戻らなくなる。 アルミニウム, 亜鉛, 錫, 鉛等の両性金属とは接触させない。 濃厚な酸を加えてはならない。密閉して, 空気との接触を避ける。
混触危険物質	: フッ化水素酸, 酸類, アルカリとの混触 アルミニウム, 亜鉛, 錫, 鉛等の両性金属
危険有害な分解生成物	: 情報なし

---

### 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない。
急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない。
急性毒性 (吸入: ガス)	: 区分に該当しない。
急性毒性 (吸入: 蒸気)	: 区分に該当しない。
急性毒性 (吸入: 粉じん)	: 区分に該当しない。
急性毒性 (吸入: ミスト)	: 区分に該当しない。
皮膚腐食性・刺激性	: 区分に該当しない。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 「珪酸リチウム水溶液(メーカーSDSにてGHS分類区分1)」を濃度限界(3%)以上含有しているため区分1とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: 区分に該当しない。
発がん性	: 区分に該当しない。
生殖毒性	: 区分に該当しない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分に該当しない。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分に該当しない。

---

誤えん有害性 : 分類できない。

## 1 2. 環境影響情報

- 水生環境有害性 短期（急性） : 区分に該当しない。  
 水生環境有害性 長期（慢性） : データなし  
 残留性・分解性 : データなし  
 生物蓄積性 : データなし  
 土壤中の移動性 : データなし  
 オゾン層への有害性 : モントリオール議定書の附属書に列記されている成分を含まない。  
 分類できない。

## 1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 水で希釈後、塩酸や硫酸等で中和し、沈殿物を濾過分離すること。  
 廃棄の際は、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。  
 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合は、該当する業者に委託して処理を行うこと。  
 汚染容器及び包装 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って、適切な処分を行うこと。  
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 1 4. 輸送上の注意

### 国際規制

- 陸上輸送 : 非該当  
 海上輸送 : 非該当  
 航空輸送 : 非該当  
 国連番号 : 非該当  
 国連分類 : 非該当  
 容器等級 : 非該当  
 海洋汚染物質 : 非該当

### 国内規制

- 陸上規制情報 : 情報なし  
 海上規制情報 : 情報なし  
 航空規制情報 : 情報なし  
 輸送時の特定の安全対策 : 運搬に関しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
 および条件  
 緊急時応急措置指針番号 : 非該当

## 1 5. 適用法令

労働安全衛生法	非該当
化学物質排出管理促進法（PRTR法）	非該当
毒物劇物取締法	非該当

## 1 6. その他の情報

### 〔参考文献〕

- 1) 「15107 の化学商品」 化学工業日報社
- 2) 「既存化学物質データ要覧」1974年度版
- 3) 「新版 毒物劇物取扱の手引」1983年版 時事通信社
- 4) 「危険物・毒物処理取扱いマニュアル」1974年 海外技術資料研究所
- 5) 「ザックス 有害物質データブック」 丸善

- 
- 6) 「化学物質 労働安全衛生規制便覧」
  - 7) 「催奇形性等発生毒物に関する薬品情報」第1版 東洋書店
  - 8) 「化学便覧」 丸善
  - 9) 「化学物質毒性データ総覧 第11版」 米国国立職業安全衛生研究所編
  - 10) 「労働衛生」 DEC.1991 Vol.381(化学物質などの発がん性分類リストについて)
  - 11) REACH 登録情報
- 

この情報は新しい知見に基づき、改訂されることがあります。

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の情報は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありません。

---